

昭和55年度派遣前専門家等中期研修

農林業専門家一般コース実施要領(後期)

(林業)

000  
80.7  
PL

国際協力事業団

受入 月日	56,120 84.5.22	000
登録No.	06673	80.7 PLI

昭和55年度派遣前専門家等中期研修  
農林業専門家一般コース実施要領(後期)  
(林業)

国際協力事業団

1. 研修の目的

我が国の開発途上地域等に対する農林業協力の円滑な実施に資するため、我が国の農林業専門家等に対し海外における農林業協力に必要な専門的技術、知識、語学等について研修を行うものとする。

2. 研修場所 国際協力事業団 研修室

( 東京都新宿区市ケ谷本村町42 )  
( 経済協力センタービル内 )

及びその他の施設

3. 研修期間 昭和55年9月18日から昭和55年12月1日まで  
(75日間)

4. 研修コース及び定員 林業コース 15名

5. 研修課程及び日程

別紙のとおり一般研修、語学研修及び専門研修の区分により実施する。

6. 受講の資格

将来開発途上地域等における農林業協力事業に専門家等として派遣が予定される者で、農林業技術者としての能力を有すると認められる者であって次の各号に該当するもの。

(1) 年 令 おおむね28～40才

(2) 学 歴 大学において農林業に関する課程を修めた者、又はこれと同等の専門的知識を有すると認められる者。

(3) 経 験 原則として5年以上の農林業に関する実務経験を有する者。

7. 受講申込み

(1) 研修を受けようとする者(国家公務員は除く)は次により必要書類を添



えて昭和54年8月31日までに事業団あてに申し込むこと。

ア 申込み先 国際協力事業団農林水産計画調査部「中期研修係」宛  
〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地  
新宿三井ビル  
電話 東京(03)346-5248

イ 必要書類

- (ア) 研修申込書 別紙様式1によるもの 1通
- (イ) 履歴書 市販の用紙B5判によるもの 1通
- (ウ) 写真 3ヶ月以内に撮影の上半身身無帽のもの。 2枚  
2×2cm程度 (1枚は履歴書に貼付、残り1枚は裏面に氏名記入のこと)

(2) 国家公務員の受講申込みについては

農林水産省経済局長(農林水産省のみ)および所属機関の長(農林水産省以外)の推せん(別紙様式2)による。

8. 必要経費の負担

受講に必要な経費の負担区分は次のとおりとする。

受講に必要な経費区分	民間企業・地方公務員等	国家公務員(農林水産省職員のみ)
(1) 勤務地または居住地から研修場所までの往復旅費	事業団負担	国負担
(2) 現地研修旅費	〃	〃
(3) 日当・宿泊費	〃	〃
(4) 教材費等	〃	事業団負担

9. 修了証書の交付

事業団は所定の研修課程を修了した者に対して修了証書を交付する。

10. 海外研修の実施

国内研修、修了者の一部について別に定める実施要綱に基づき海外研修(約3週間)を実施する。

11. 専門家登録

研修修了後は、全員事業団の派遣専門家登録を行う。

様式 1.

昭和 年 月 日

派遣前専門家等中期研修受講申込書

国際協力事業団  
理事 橋 敬 一 殿

所 属 先

所属長氏名

㊟

下記のとおり必要書類を添えて申し込みいたします。

記

1. 研修コース名 林業コース

2. 氏 名 ふりがな (昭和 年 月 日生)

3. 現 住 所 〒 □□□-□□ 電話番号

4. 勤 務 先 電話番号

5. 同上所在地 〒 □□□-□□

6. 専 門 技 術

様式 2.

文書番号

年月日

国際協力事業団  
理事 橋 敬 一 殿

農林水産省経済局長  
または所属機関の長

⑩

派遣前専門家等中期研修受講者の推せんについて

このことについて下記の者を適当と認め推せんする。

記

受講研修コース名（林業コース）

ふりがな 氏 名	年令 生年 (月日)	所 属	所属部課 係 名	最 終 卒 業 学 校 名 及 び 卒 業 年 次	採 用 年 次	専 門 分 野	備 考 (等 級) (号 俸 等)

別紙

## 研修課程表

項目 区分	科 目	時 間 数	割 合
一般研修	経済協力の概要	10.0	12%
	発展途上地域の一般概論	17.5	
	そ の 他	11.0	
	小 計	38.5	
語学研修	英語基礎会話	137.5	54%
	英文レポート作成法	30.5	
	小 計	168.0	
専門研修	農林業開発協力事業の概要	10.0	34%
	農林業開発調査及び評価	2.5	
	熱帯農林業概論	7.5	
	熱帯農林業各論	30.0	
	プロジェクトの事例報告	10.0	
	現地研修	46.0	
	中間・最終エバリュエーション	2.5	
	小 計	108.5	
合 計		315.0	100

(参考)

1. 旅費

- ① 東京近郊在住者(通勤可能者)に対しては、居住地又は勤務地から研修場所(市ヶ谷)までの往復の交通費実費(定期代)のみを支給する。
- ② 地方在住者に対しては、上京、帰郷旅費、研修期間中の滞在費(9,000円~7,200円/日)を支給する。

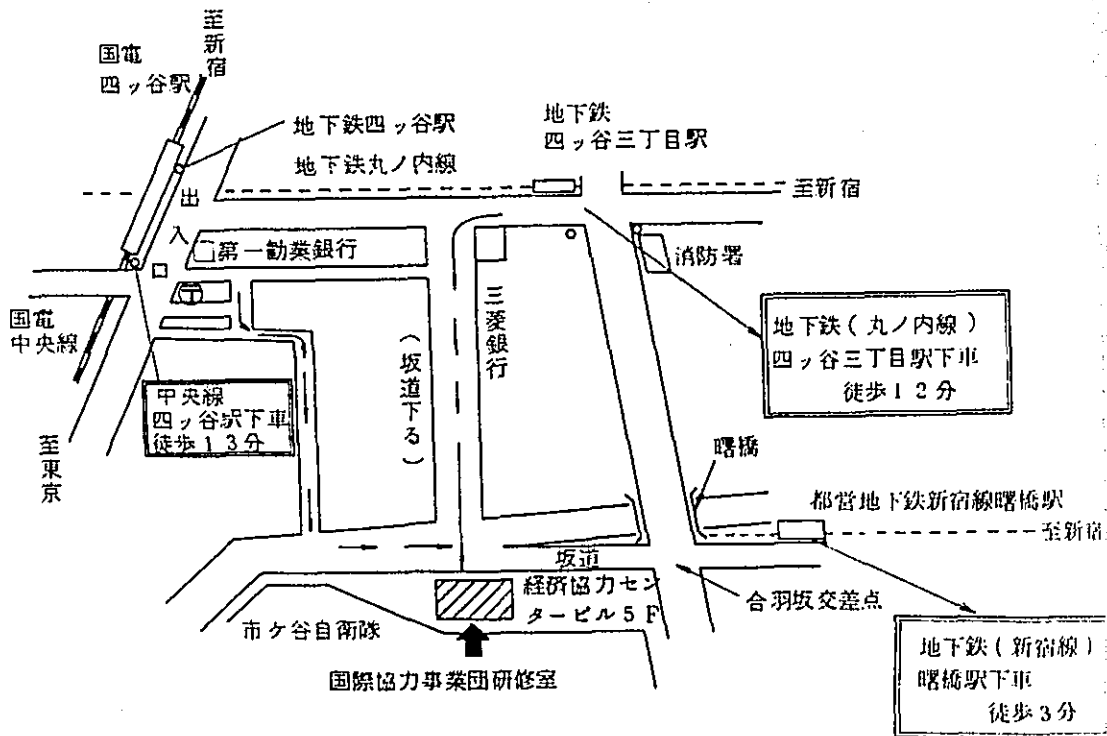
2. 宿泊

事業団は、宿泊の斡旋はしない。

3. 研修場所 東京都新宿区市ヶ谷本村町42番地  
経済協力センタービル別館5階  
国際協力事業団研修室

TEL 東京 03-355-6432・6434

(研修期間中の電話)



4. 研修に関する連絡先

国際協力事業団 農林水産計画調査部

電話 東京 03-346-5248

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地

新宿三井ビル内私書箱216号



研修日程概要

項目	9月		10月					11月			12月		備考	
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週			
農林業専門家 一般コース (林業コース)	開講式 9/18(木)		10/24 10/25					11/25 11/29			閉講式 12/1(月)		専門講義の時間配分 講義 13.30 ~ 15.00 講師との意見交換 15.10 ~ 16.00	
	9.15~ 12.15	英会話		現地研修 (群馬県)					英会話			現地研修 (沖縄県)		
	13.30~ 16.00	一般講義	専門講義	専門講義					英作文					
	16.00~ 17.00	国際協力映画等補講		国際協力映画等補講										

研修日程

項目 日数	年月日	曜 日	前		午			後	
			9:15~	11:00~	13:30 ~ 16:00			16:05~17:00	
			10:50	12:15	科	目	講 師 名	科 目	
1	55. 9.18	木	開講式	諸連絡	語学	英会話クラス分けテスト		諸打合せ, 討論・映画等補講	
2	19	金	語学研修	語学研修	一 般 研 修 専 門 研 修	国際協力事業団の組織と機能・専門家派遣制度	橋口次郎	国際協力事業団総務部技術者管理課長	〃
3	20	土	〃	〃					
4	21	日							
5	22	月	〃	〃		国際協力の意義とその推移	久宗高	日伯農業開発協力(株)社長	〃
6	23	火							
7	24	水	〃	〃		先進国の技術協力の現状	藤村建夫	国際協力事業団企画部企画課	〃
8	25	木	〃	〃		専門家体験談(パネルディスカッション形式)	橋口次郎	国際協力事業団総務部技術者管理課長	〃
9	26	金	〃	〃		世界の政治・経済の動向と日本の位置	藤牧新平	東海大学教養学部長	〃
10	27	土	〃	〃					
11	28	日							
12	29	月	〃	〃		専門家と異文化接触	室 靖	東和大学教授	〃
13	30	火	〃	〃		発展途上国における宗教と社会	佐藤良純	大正大学助教授	〃
14	10. 1	水	〃	〃		地域概論 東南米地域	G.アンドラーデ	上智大学教授	〃
15	2	木	〃	〃		地域概論 東南アジア地域	金谷敏郎	国立教育研究所企画部整官	〃
16	3	金	〃	〃		地域概論 アフリカ地域	林 晃史	アジア経済研究所調査研究部	〃
17	4	土	〃	〃					
18	5	日							
19	6	月	〃	〃		地域概論 中東地域	林 武	アジア経済研究所調査役	〃
20	7	火	〃	〃		農林業開発協力事業の基本的理念	黒木敏郎	農水省国際協力課長	〃
21	8	水	〃	〃		林業開発協力事業のあり方	松田 晃	林野庁計画課長	〃
22	9	木	〃	〃		林業開発協力事業の現状	堀 健治	国際協力事業団林業開発協力部長	〃
23	10	金							
24	11	土	〃	〃					〃

(注) 講師の都合により日程等を変更することがあります。

開講式, 閉講式は, 研修場所(市ヶ谷)ではなく, 事業団本部(新宿三井ビル内)にて行います。

項目 日数	年月日	曜 日	前		午			後					
			9:15~	11:00~	13:30 ~ 16:00			16:05~17:00					
			10:50	12:15	科	目	講	師	名	科	目		
25	55.10.12	㊤											
26	13	月	語学研修	語学研修	専	民間ベースの林業開発協力事業の現状			国際協力事業団林業投融资課長		諸打合せ、討論・映画等補講		
27	14	火	"	"		熱帯の森林林業概要	原	敬	三	南方造林協会	"		
28	15	水	語	"		世界の森林資源とその利用	神	足	勝	浩	国際協力事業団参与	"	
29	16	木	"	"		日本の木材需給と外材事情	山	口	昭	林野庁林産課長	"		
30	17	金	"	"		熱帯林の工	大	角	泰	夫	林業試験場	"	
31	18	土	"	"									
32	19	㊤											
33	20	月	学	"		熱帯林における樹病と防腐	青	島	清	雄	林業試験場	"	
34	21	火	"	"		熱帯における流域管理のあり方	中	野	秀	章	"	"	
35	22	水	"	"		熱帯材の特徴と識別	須	藤	彰	司	"	"	
36	23	木	"	"		中間エバリエーション					"		
37	24	金	研	現	地	研	現	地	研	現	地	研	
38	25	土	研	"									
39	26	㊤											
40	27	月	修	語学研修	語学研修	修	熱帯林の開発と伐出作業	北	沢	正	孝	(株)三菱商事	"
41	28	火	"	"		熱帯林の開発と林道作業					"		
42	29	水	"	"		熱帯における更新技術	坂	口	勝	美	(株)日本林業技術協会	"	
43	30	木	"	"		熱帯における林業機械	三	品	忠	夫	(株)フォーレストエンジニアリング	"	
44	31	金	"	"		航空写真による熱帯林の判読と利用	渡	辺	宏	(株)日本林業技術協会	"		
45	11.1	土	"	"									
46	2	㊤											
47	3	㊤											
48	4	火	"	"		航空写真判読実習	小	原	忠	夫	(株)日本林業技術協会	"	
49	5	水	"	"		熱帯材の利用・加工	大	福	喜	子	男	日本製紙連合会	

項目 日数	年月日	曜 日	前		午			後
			9:15~	11:00~	13:30 ~ 16:00			16:05~17:00
			10:50	12:15	科 目	講 師 名	科 目	
50	55.11.6	木	語学研修	語学研修	専 門 研 修	熱帯材の利用加工	紫 沢 静 夫 ㊦ 日本合板検査会	諸打合せ, 討論・映画等補講
51	7	金	"	"		民間協力事業の実際	和 田 郁 男 ㊦ 三 井 物 産	"
52	8	土	"	"				
53	9	㊦						
54	10	月	"	"		"	並 木 保 次 ㊦ 本 州 製 紙	"
55	11	火	"	"		林業協力事業の実際(フィリピン,	浅 川 澄 彦 林 業 試 験 場	"
56	12	水				" ( )		"
57	13	木	"	"		派遣専門家との意見交換		"
58	14	金	"	"		語 学 研 修		"
59	15	土	"	"				
60	16	㊦						
61	17	月	"	"	語 学 研 修		"	
62	18	火	"	"	"		"	
63	19	水	"	"	"		"	
64	20	木	"	"	"			
65	21	金	"	"	"			
66	22	土	"	"				
67	23	㊦						
68	24	㊦						
69	25	火	現 地 研 修		現 地 研 修	現 地 研 修		
70	26	水	"			"		
71	27	本	"			"		
72	28	金	"			"		
73	29	土	"			"		
74	30	㊦						
75	12.1	月	最終 Evaluation			閉 講 式		

